

事業計画名 自動充填機導入による、ワインの品質・生産効率の改善向上



自動充填機



自動充填機でワインの品質・生産効率をアップ

1998年に余市リタファームを開園し、余市で3番目となるワイナリーを2013年に完成させた「リタファーム&ワイナリー」。専用品種のワインはすべて自社の畑で獲れたぶどうを使い、野生酵母による自然発酵で可能な限り亜しょう酸（酸化防止剤）を使用しない自然に逆らわない醸造を実践してきた。その美味しさと品質へのこだわりは初出荷当初からファンの認めるところとなり、出せばすぐに売り切れ、海外からも引き合いが来るほどの人気に。しかし夫婦二人の手作り体制では需要に対応するのが難しくなっていた。そこで本事業では、自動充填機を導入。低コスト化、労働力の低減だけでなく、真空充填によりさらなる高品質化が可能となり、安定した本数を手ごろな価格で供給できるようになった。

最新設備が支える真の”自然”派

自然派ワインの製造に最新設備を導入する意義について、「機械で真空充填し、窒素ガスを同時に入れることにより酸化防止剤を極力少なくでき、より”自然”に近くできる。」と語る菅原代表。消費者の求めるものにマッチしたワインが、低コストで大量生産できるようになった。また現在はアメリカ、フランス両国へ輸出しているのは同ワイナリーしかなく、その期待にも柔軟に対応している。

今後は、未来型の自然派ワイナリーを目指して、AI技術の導入による天候予測や畑の管理サポートなどの可能性も探っていきたいと考えている。

委託醸造でワインの夢を後押し

余市にはワイナリー経営の希望者が多く集まってくる。彼らが本格稼働する前に、製造販売の道筋をつけるためのテストマーケティングを行えるよう、リタファームではカスタムクラッシュの設備を準備中。ぶどう農家だけでなく、個人からの委託醸造も引き受ける予定で、ぶどうを持ち込めば誰でも自分だけのオリジナルワインを作ること可能だ。

将来的には、そこを拠点としてコミュニティを構築し、ワイン作りのノウハウの共有や情報交換を積極的に進めたいとのこと。地域の産業振興の一翼を担う存在になりそうだ。



代表取締役

菅原 誠人

妻が栽培・醸造を、私が企画・マーケティングという二人三脚で開設以来やっております。ここでは先発組でしたので、畑も栽培もマーケティングもすべて独学でやってきました。リタファームの名前はかつて隣で畑をやっていたニッカの竹鶴氏の奥様に由来し、ドラマが始まる以前の1998年から使わせていただいております。今後は培ったノウハウを活かして同じワインの夢を追う人を応援したいと考えています。

TOPIX

余市のクラフトビール誕生へのサポート

余市はウイスキーとワインが有名である。ここに美味しいビールを加えたいという声が多い中、若者たちが立ち上がった。町からの要望もあり余市でしか飲めないビールを創るために菅原代表はブランドサポートする。2020年に始動。



COMPANY DATA

リタファーム&ワイナリー

TEL.0135-23-8805 FAX.0135-48-5117

<http://www.rita-farm.jp/>

住 所 北海道余市郡余市町登町1824番地
代表者名 菅原 誠人
設 立 平成10年4月
事業内容 果実酒製造販売業